

**第18単元 三角形と角(A)**

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	40 (各10)	① 二等辺三角形 ② 正三角形 ③ う ④ え、か (完答、順不同)	<b>知技</b> 二等辺三角形、正三角形の名称とその基本的な性質を理解している。	大きさが等しい角、長さが等しい辺については、定規やコンパスを用いた具体的な活動で理解させる。
②	40 (各20)	(略)	<b>知技</b> 二等辺三角形、正三角形を作図することができる。	定規ではじめにかく辺を決めてから、コンパスを使うという手順をおさえる。なお、コンパスの線は消さないように指示する。
③	20	①→②→③ (完答)	<b>知技</b> 辺の開き具合に着目して、角の大きさを判断することができる。 <b>知技</b> 角の大きさを判断する際に、三角定規の角を利用することができる。	直観的な判断だけでなく、三角定規の角を利用して、角②、角③は直角より小さい、角①は直角より大きいなどと判断させる。なお、問題の図では、いちばん小さい角の辺が最も長く、いちばん大きい角の辺が最も短い。このことから、角の大きさは角をつくる2つの辺の長さには関係がないことを確認させる。

**第18単元 三角形と角(B)**

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① (2) ② (2)	<b>思判表</b> 円の性質と三角形の辺の長さに着目し、二等辺三角形と正三角形を弁別したり、正三角形になる条件を説明したりしている。	円の半径は全て等しい長さであることを再確認する。
②	(2)	<b>思判表</b> 角の大きさは、辺の長さに関係がないことを説明している。	角を重ね合わせて、①と②の三角定規の3つの角の大きさがそれぞれ等しいことを実感させる。

▶思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	3問	2問	1問以下

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容	3項目とも意欲的である。	3項目ともおおむね意欲的である。	どの項目も消極的である。